

その覚悟を、時が伝える。

人吉海軍航空基地跡

ひとよしかいぐんくわんりゅうくうくうきちあちまへ



写真提供：福井弘氏



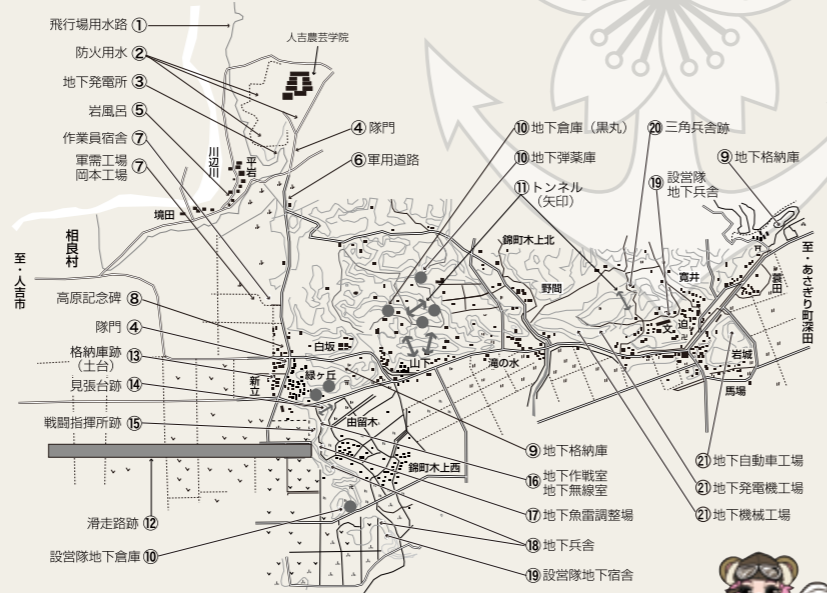
現在の庁舎居住区隊門跡

人

吉海軍航空基地は昭和十八年十一月から建設が始まった、県内唯一のコンクリート製滑走路を有する旧海軍飛行場で高原（たかんぼる）飛行場と呼ばれます。満十四歳以上二十歳未満の高等小学校を卒業した志願者によって構成される予科練、人吉海軍航空隊が昭和十九年二月に発足しました。鹿児島県出水市、鹿屋市、宮崎県都城市への後方支援基地として昭和二十年四月より広大な地下施設の建設が開始されます。その施設は総面積約二万五千平米、二十一種類を数え、終戦に至るまで作り続けられました。地上施設の多くは昭和二十年、三月と五月のアメリカ軍艦載機による空襲を受け壊滅していますが、地下施設は空襲の被害を免れます。現在もその四十%にあたる約一万平米、十一種類の地下施設がその歴史を今に伝えています。

Nishiki life
History
歴史を慈しむ
連綿と流れる時間が残した
宝物を愛でる。
それが、錦流。

人吉海軍航空基地跡 遺構分布マップ



人吉海軍航空基地跡について詳しくは
人吉球磨は秘密基地
<http://hito-kichi.club>



基地キャラ クマリン



地下無線室

ちかむせんしつ

